



刈取り後の 水田管理

米



金谷営農経済センター
佐野 博哉

刈り取りも終盤になってきました。作業終了後は、機械の整備や点検、畦畔やほ場整備を進め、次年度に向けて管理を行ってください。収穫したお米は適正に保管し、年間を通じておいしいお米を食べましょう。

《種子更新をお勧めします！注文お忘れの方は今すぐ!!》

種子を長年自家採取し続けると、品種特性の劣化や変異、混種で、生育にばらつきが生じる恐れがあります。できるだけ採取ほ場の証明書付種子を購入して種子更新をしましょう。購入種子は、県の指定ほ場で厳密に生産され、その2世代前の原種を生産する時に系統選抜されているので、純粋性がより高くなっています。種子のお問い合わせや申し込みは、最寄りの営農経済センターまでどうぞ。
《土壌改良資材を積極的に施用しましょう》
ケイ酸資材施用の効果として、登熟が向

上し、粒太りが良くなります。また、発根を促進し、茎や葉を丈夫にするので倒伏や病害虫に強くなります。

ケイ酸加里プレミア 34 60 kg / 10 a

ケイ酸加里は、く溶性のため必要なだけ吸収されます。水にも溶けず、雨水によって流れ出すことはありません。ケイ酸と加里の相乗効果で根張りが良くなり根が活性化します。

とれ太郎 80 kg / 10 a

作物へのケイ酸吸収が高く、リン酸・苦土・石灰を含むので稲を健全に育てられ、収量や品質の向上につながります。

オイスターミネラル 100 kg / 10 a

カキ殻で根張りを良くし、吸収性の高いケイ酸が効果的に効くようになっていきます。カキ殻とケイ酸のダブル効果で強い稲づくりができます。

稲葉は、次年度の稲作に欠かせないケイ酸を多く含んでいます。畑等に使用する方は、10 aあたりの土壌改良材施用量を20〜40 kg追加しましょう。

《刈取後のおすすめ雑草対策》

ブリグロックスL

10 aあたり1本（1ℓ）を1000〜1500ℓの水で希釈して散布します。イネ科雑草に対し種子発芽後枯殺効果があります。

クロレートS粒剤 20〜25 kg / 10 a

ヒエ・コナギ等でお困りの方におすすめて。水を落としたりした状態で、刈取後なるべく早く（年内までに）散布し、3週間は耕起しないようにしてください。石灰の入った土壌改良材は、散布後3週間以降に処理してください。

※この農業は毒劇物になります。お買い求めには印鑑をご持参ください。詳しい使い方は、最寄りの営農経済センターまで。